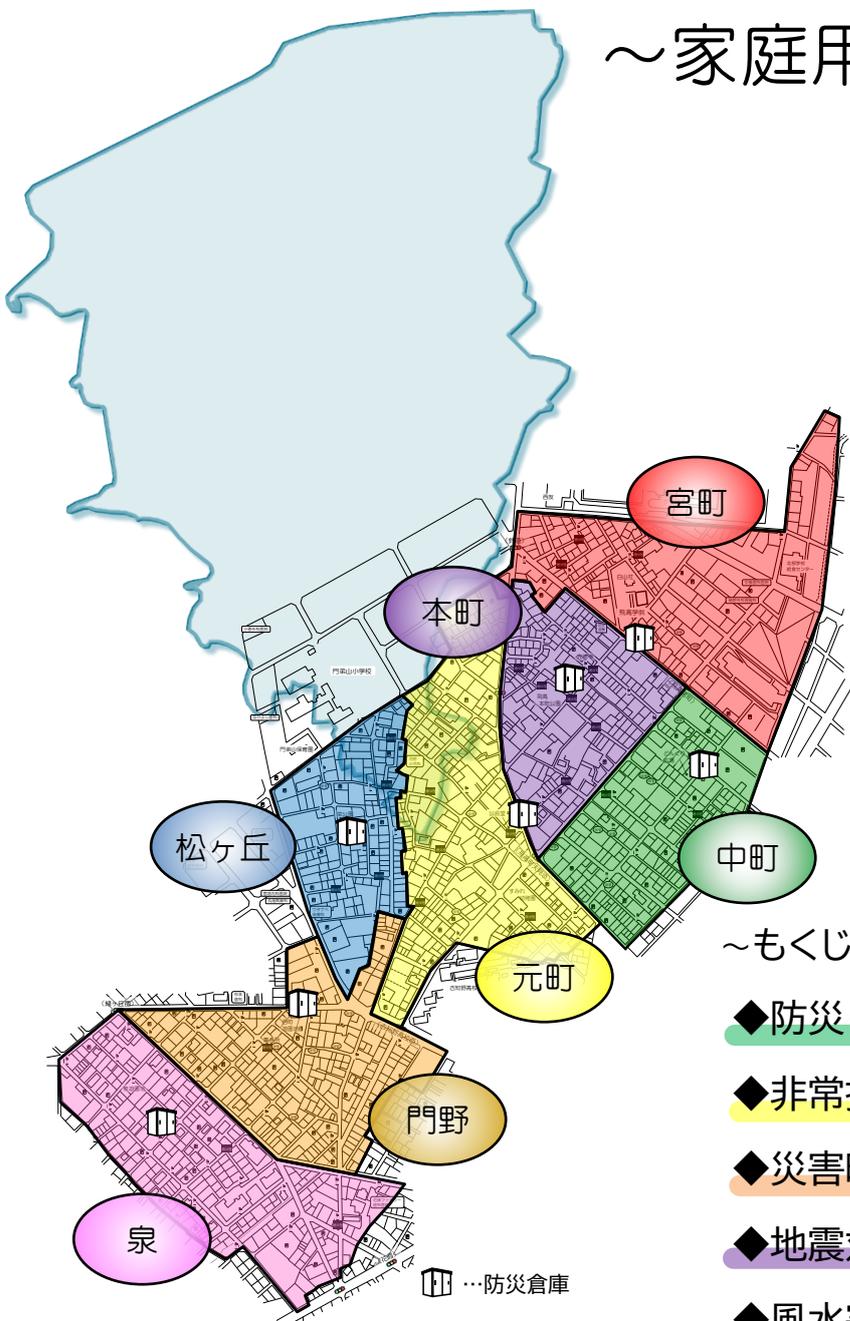


# 飛高区自主防災会

## 防災・減災マニュアル

～家庭用～

令和5年9月



### [避難場所]

◇各町防災倉庫前  
※被害状況によっては変更があります  
(各町防災会長または副会長が決定)

### [避難所]

◇門弟山小学校  
※状況によっては飛高会館も避難所として使用します

～もくじ～

◆防災・減災	…P. 1
◆非常持出品	…P. 4
◆災害時の連絡手段	…P. 6
◆地震対応	…P. 7
◆風水害対応	…P. 15
◆火災対応	…P. 19
◆避難所では	…P. 22

### [自主防災会の招集]

風水害…『避難指示』が発令されたとき  
地震…『震度5』以上のゆれが観測されたとき

# 無事

飛高区自主防災会

# 防災・減災

平成25年に発表となった近未来予想される東海・東名南海連動地震による当地区の震度は6弱といわれています。

\* 6弱の揺れとは 立っている事が困難になる。固定していない家具が移動したり倒れたりする。耐震性の低い木造建築は傾いたりする事がある。

\* 6強の揺れとは はわないと動くことが出来ない。固定支持なし家具の多くが倒れる。耐震性の低い木造建築は倒れる物が多くなる。地割れが発生する事がある。

## 防災・減災のための備え

### 家の周囲の安全対策

家の周囲にも災害が発生すると危険なところがたくさんあります。日ごろから気にかけて、危険な個所の点検を心がけましょう。

#### ■一戸建ての安全対策ポイント

##### ●雨どい・雨戸

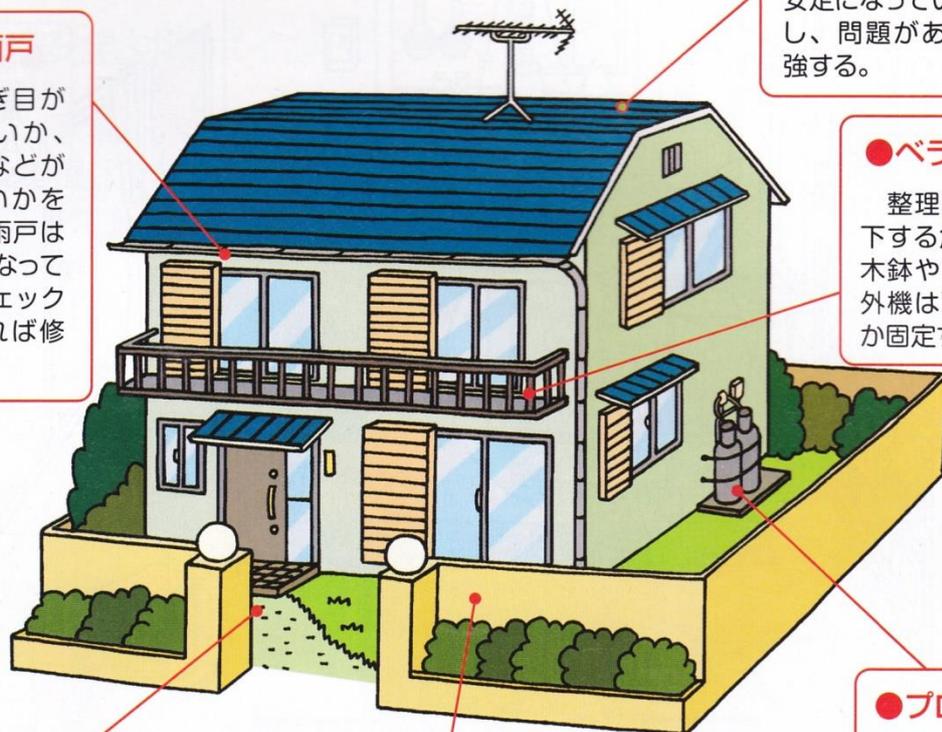
雨どいの継ぎ目ははずれていないか、落ち葉や土砂などが詰まっていないかをチェックする。雨戸はたてつけが悪くなっているかをチェックし、問題があれば修繕する。

##### ●屋根

屋根瓦やアンテナが不安定になっていないか確認し、問題がある場合は補強する。

##### ●ベランダ

整理整頓し、落下する危険がある植木鉢やエアコンの室外機は配置を換えるか固定する。



##### ●玄関まわり

自転車や植木鉢など、出入りの支障となるものは置かない。

##### ●ブロック塀

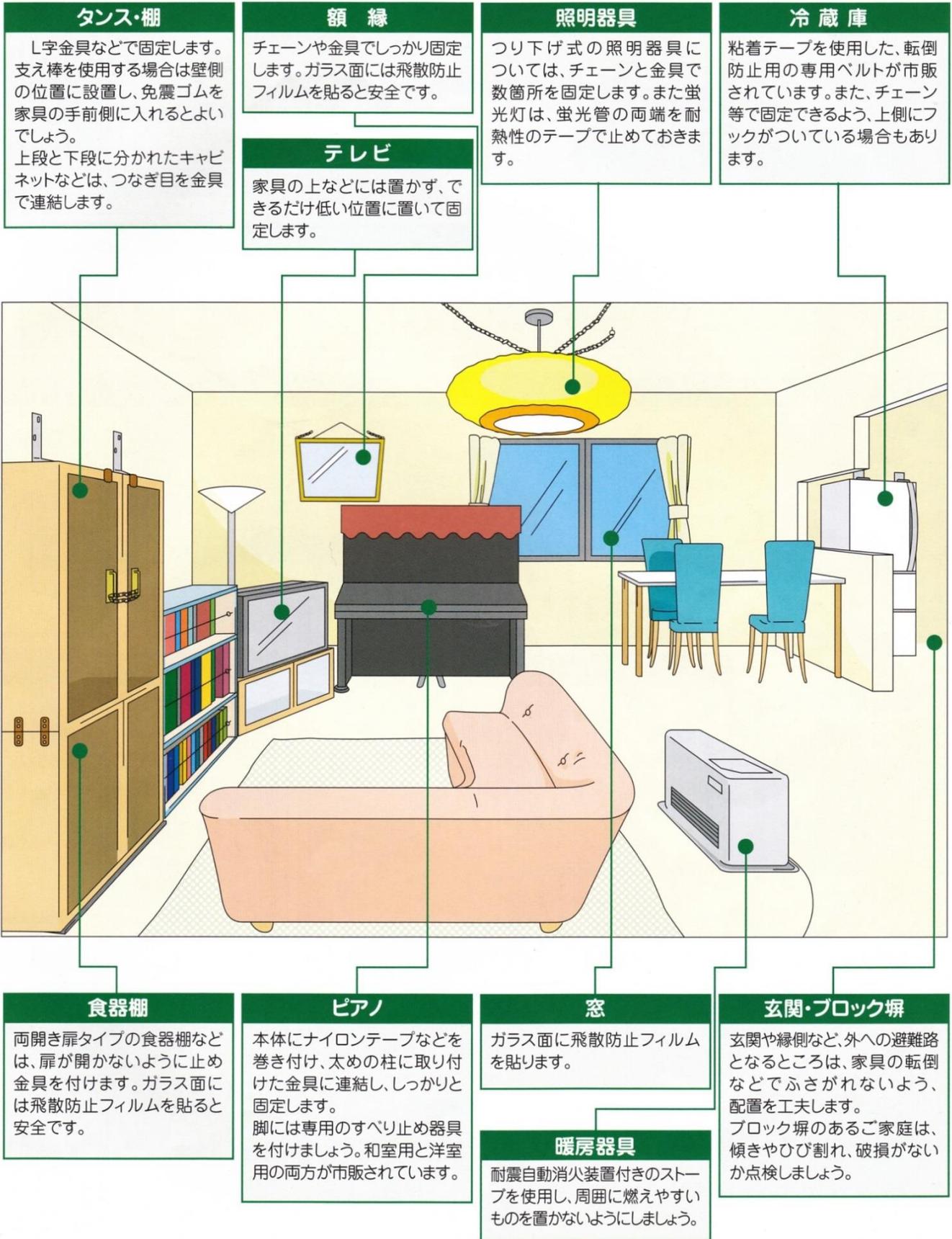
土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは補強する。ひび割れや傾き、鉄筋のさびがある場合は修理する。

##### ●プロパンガス

倒れないように、しっかりと土台の上に置き、鎖で壁面に固定しておく。

# 家の中の安全対策

家具の転倒・落下によって怪我をしたり倒れた家具が入り口をふさいで避難できなくなったりします。日頃から家具の固定をしたり配置を工夫したりして地震に備えましょう。



防災・減災

非常持出品

災害時の連絡手段

地震対応

風水害対応

火災対応

避難所では

## 集合住宅の安全対策

マンションなどの集合住宅では多くの人たちが暮らしているため、一戸建て住宅とは違った防災対策が求められます。いざという時に備えて、住民同士話し合い、防災設備の点検などに取り組みましょう。

### ■玄関

玄関は、脱出口、避難経路として重要な場所。開かなくなった扉をこじ開けられるようにバールなどを用意しておく。



### ■通路

避難や通行の妨げにならないように、自転車などものを置かない。また、類焼防止のため、古新聞やダンボールなどの燃えやすいものを置かない。



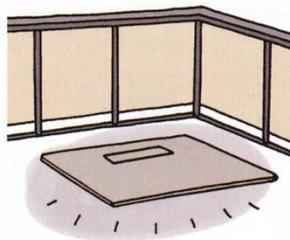
### ■非常階段・非常扉

いざというときに安全に避難できるように、通行の妨げになるようなものを置くのは厳禁。特に非常扉の前や階段付近には要注意。



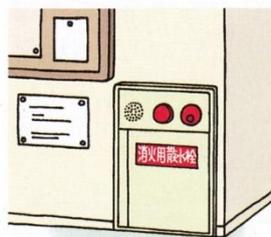
### ■ベランダの避難ハッチ (非常脱出口)

日ごろから使用方法をよく確認しておく。避難器具のまわりにもものを置くのは厳禁。



### ■防災用具・防火設備

通路などの共用部分に置いてある消火器や火災報知器などの場所を日ごろから確認しておく。消火器の有効期限を表示する。



### ■管理組合からの連絡に注意

防災設備の点検や防災訓練のお知らせなど、管理組合からの連絡には日ごろから注意する。訓練には積極的に参加する。



## 家の耐震診断を受けよう

昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅は是非耐震診断を受けてください。(市役所へ申し込めば無料です。平成26年3月現在)補強工事については助成金が出ますので市役所とよく話あってください。施工業者については訪問販売は避けて、出来れば地元業者もしくは大手業者にしてください。トラブルの原因となる可能性があります。

## 非常持出品

非常持出品と備蓄品を区別して用意しましょう。

非常持出品の重さの目安は男性で15kg程度、女性で10kg程度とされています。又、持ち出しの時は安全の為にリュックや肩掛けカバンなどを使用し出来るだけ両手が使えるようにします。

### 非常持出品 ～災害発生時に最初に持ち出す最小限のもの～

#### ◆懐中電灯

できれば一人に一つずつ用意。予備の電池も忘れずに。(発電式のものもある)

#### ◆携帯ラジオ

小型で軽く、AMとFMの両方聞けるもの。(手動で充電できるものや携帯電話の充電ができるものなどがある)



#### ◆非常食・水

缶詰や乾パンなど、火を通さずに食べられるもの。水はペットボトル入りが便利。



#### ◆貴重品

多少の現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証、住民票のコピーなど。公衆電話を利用するための10円玉も。



#### ◆救急医薬品

傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬などのほか、常備薬があれば必ず用意する。



#### ◆その他

ヘルメット、下着類、軍手、ライター、ナイフ、ティッシュ、丈夫なハサミなど。

### 備蓄品 ～復旧するまでの数日間を支えるもの～

#### ◆食料品

缶詰やレトルト食品など非常食3日分を含む7日分以上の備蓄。  
冷蔵庫の食料は氷と共にクーラーボックスに入れ、先に食べましょう。

#### ◆水

飲料水は大人一人あたり一日3リットルが目安で、7日分用意する。水の配給を受けるためのポリ容器などがあると便利。

#### ◆燃料

卓上コンロや固形燃料、灯油、予備のガスボンベなど。

#### ◆工具

ロープ、バール、のこぎり、ジャッキ、スコップなど。

#### ◆その他

簡易トイレ、毛布、寝袋、ラップ、食器類、使い捨てカイロ、マスク、シート、照明器具、筆記用具、予備のメガネ、クーラーボックスなど。



### その他、家族構成に応じた備え

#### ◆乳幼児

離乳食、粉ミルク、加熱調理器具、消毒用品、紙おむつ、おしりふきなど。

#### ◆疾患・アレルギーのある方

主治医の連絡先、持病の薬、持病薬のメモ(処方箋)、事情にあった食料など。

#### ◆高齢者

入れ歯、介護食、大人用紙おむつなど。

#### ◆ペット

動物病院の連絡先、リード、ケージ、ペット用食品、排泄用品など。

非常持出品チェックリスト

品名	点検日記入欄			品名	点検日記入欄		
<input type="checkbox"/> 非常食				<input type="checkbox"/> ろうそく・ランタン			
<input type="checkbox"/> 飲料水				<input type="checkbox"/> ライター・マッチ			
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備の電池)				<input type="checkbox"/> ナイフ・缶切り・栓抜き			
<input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備の電池・電球)				<input type="checkbox"/> ティッシュ (ウエットタイプも)			
<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん				<input type="checkbox"/> 丈夫なハサミ			
<input type="checkbox"/> 救急医薬品				<input type="checkbox"/> タオル			
<input type="checkbox"/> 常備薬				<input type="checkbox"/> ビニール袋			
<input type="checkbox"/> 貴重品(預貯金通帳・印鑑など)				<input type="checkbox"/> 上着・下着			
<input type="checkbox"/> 現金				<input type="checkbox"/> 軍手			
<input type="checkbox"/> 健康保険証のコピー							
<input type="checkbox"/> 住民票のコピー							

備蓄品チェックリスト

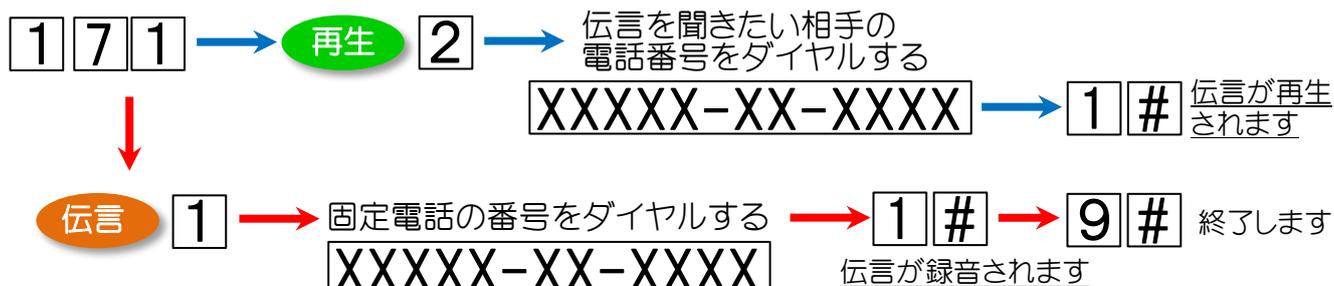
品名	点検日記入欄			品名	点検日記入欄		
<input type="checkbox"/> 食品(缶詰・レトルト食品・ドライフーズなど)				<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ・トイレットペーパーなど			
<input type="checkbox"/> 食品(調味料・スープ・みそ汁など)				<input type="checkbox"/> マスク・使い捨てカイロ			
<input type="checkbox"/> 食品(チョコレート・あめなど)				<input type="checkbox"/> 簡易トイレ			
<input type="checkbox"/> 水(1人あたり1日3リットル、7日分)				<input type="checkbox"/> 予備のメガネ・補聴器など			
<input type="checkbox"/> 燃料(卓上コンロ・固形燃料・灯油・予備のガスボンベ)				<input type="checkbox"/> 工具(ロープ・バール・スコップなど)			
<input type="checkbox"/> 毛布・タオルケット・寝袋				<input type="checkbox"/> 軍手			
<input type="checkbox"/> 洗面用品				<input type="checkbox"/> クーラーボックス			
<input type="checkbox"/> 鍋・やかん							
<input type="checkbox"/> 簡易食器							
<input type="checkbox"/> ラップ・アルミホイル							

# 災害時の連絡手段

## 災害伝言用ダイヤル171

(携帯電話や公衆電話からもかけられます)

地震などの災害が発生すると被災地区への電話が殺到しつながりにくい状況になると開始されるサービスです。登録出来る伝言は1件につき30秒以内で登録できる件数は1件~10件です。保存期間は48時間でその後は自動消去されます。



※携帯電話の番号やIP電話の番号は使えません  
 ※被災地の番号でないと入力できません

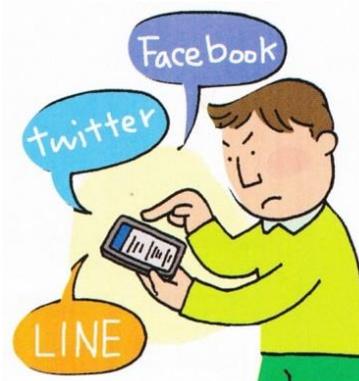
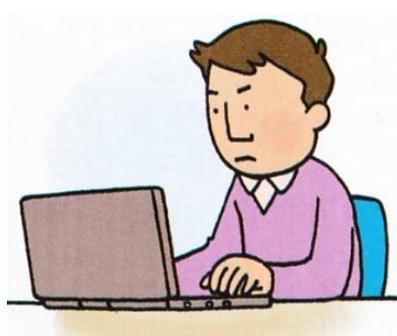
※ガイダンスが流れるので、その指示に従って落ち着いて録音・再生をしてください。

### 災害用伝言ダイヤルの体験利用

災害用伝言ダイヤルは毎月1日と15日、9月の防災週間、1月の防災とボランティア週間に体験利用ができます。

## 災害用伝言板

震度6弱以上の地震等大きな災害が発生すると開始されるサービスです。携帯電話やスマートフォンから御自身の安否確認を登録するとインターネットを通して確認できます。また、EメールやFacebook・twitterなどのソーシャルメディアを活用することも有効です。





# 地震対応

地震が起こったらその場の状況に応じて身の安全を確保してください。

地震が起きた時にその場の状況に応じて身を守る備えをしましょう。  
どこで地震に遭遇してもあせらず身を守り安全な行動が出来るよう家族で話し合いましょう。

## 地震とゆれの状況

**0**

**【震度0】**  
人は揺れを感じない。

**1**

**【震度1】**  
屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。

**2**

**【震度2】**  
屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。

**3**

**【震度3】**  
屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。

**4**

**【震度4】**

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が、倒れることがある。

**6弱**

**【震度6弱】**

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

耐震性が高い      耐震性が低い

**5弱**

**【震度5弱】**

- 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

**6強**

**【震度6強】**

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

耐震性が高い      耐震性が低い

**5強**

**【震度5強】**

- 物につかまらなると歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

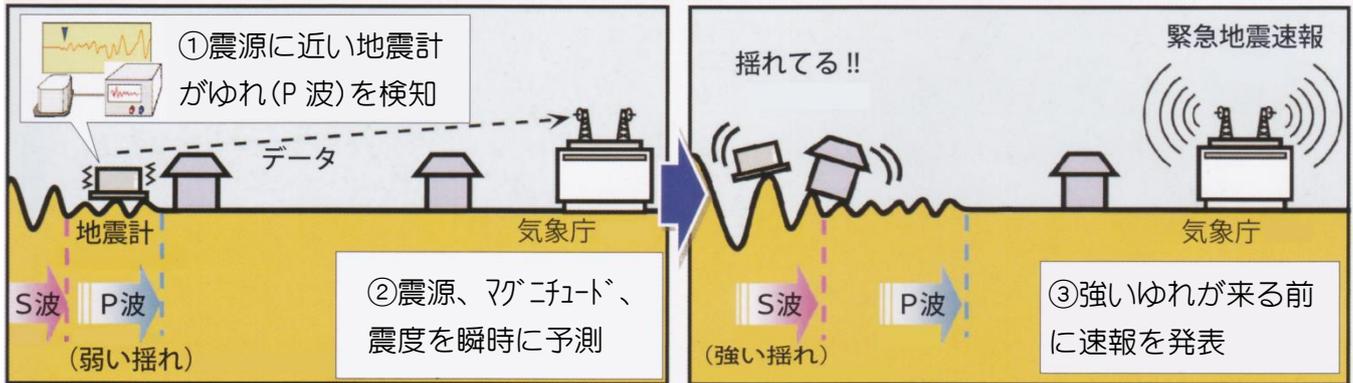
**7**

**【震度7】**

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

耐震性が高い      耐震性が低い

## 緊急地震速報のしくみ



## 緊急地震速報の種類

### 緊急地震速報 (警報)

#### 【発表基準】

- ・最大震度5弱以上のゆれが予想された場合

#### 【速報の内容】

- ・地震の発生時刻、震源、地震の規模
- ・震度4以上が予想される地域の名称

#### 【主な伝達方法】

テレビ、ラジオ、携帯電話、スマートフォン、防災行政無線などで伝達されます

### 緊急地震速報 (予報)

#### 【発表基準】

- ・最大震度3以上またはマグニチュード3.5以上のゆれが予想された場合

#### 【速報の内容】

- ・地震の発生時刻、震源、地震の規模
- ・震度4以上が予想される地域の名称
- ・予想される震度
- ・震度4以上のゆれの到達予想時刻

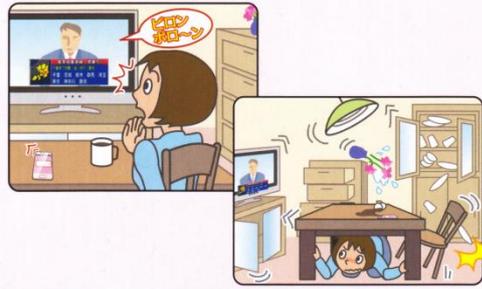
#### 【主な伝達方法】

民間の予報業務許可業者が提供する専用の受信端末、スマートフォンの緊急地震速報受信アプリケーションなど

## 緊急地震速報 利用の心得

## 家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない



## 鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる



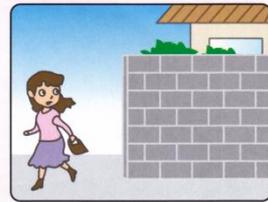
## エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



## 屋外(街)では

- スロッキ塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



## 自動車運転中は

- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす



## 南海トラフ地震に関する情報

(平成 29 年 11 月 1 日運用開始)

「南海トラフ地震に関連する情報」は、南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするもので、この情報の種類と発表条件は以下のとおりです。

## 南海トラフ地震臨時情報

- ・ 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- ・ 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

## 南海トラフ地震関連解説情報

- ・ 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合
- ・ 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合

## 地震発生時の行動パターン

### 地震発生

- 落ち着いて自分の身を守る  
机の下に隠れるなど、まず身を守ることを第一に。
- あわてず、火の始末  
揺れが激しいときは無理をせず、大きな揺れがおさまってから始末をする。
- ドアや窓を開けて逃げ道を確保する  
金属扉では揺れがおさまった後、動かなくなることがあるので支援を待つ。



### 1~2分

- 火の元を確認し、出火していたら初期消火
- 家族の安全を確認
- 靴をはく  
ガラスの破片などから足を守るため。
- 非常持出品を手近に用意しておく

#### 《安否確認板》

無事

飛高区自主防災会



### 3分

- 安否確認板を表に掲示
- 隣近所の安否を確認  
特に一人暮らしの高齢者や災害要援護者がいる家には積極的に声をかけて安否を確認する。近所で火が出ていたら大声で知らせ消火活動をする。
- 余震に注意  
大きな揺れがおさまった後に、小さな揺れが起こることが多いので要注意。

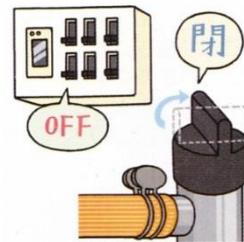
### 5分

- テレビ・ラジオなどで正しい情報を確認
- 家屋倒壊の危険などがあれば避難する



### 5~10分

- 子供を迎えに行く（学校のルールに従う）
- さらに出火防止をおこなう  
ガスの元栓を閉め電気のブレーカーを切る。
- 冷蔵庫の食料品クーラーボックスに入れ氷も入れる



### 10分 ~数時間

- 消火・救出活動  
近隣住民と協力して消火や救出活動をする。
- テレビ・ラジオなどで正しい情報を確認
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する



### ~3日 ぐらい

- 家屋倒壊のおそれがある場合は避難所で生活する
- 壊れた家には入らない
- 生活必需品は自己備蓄でまかなう
- 災害情報・被害情報の収集  
市の広報に注意する。
- 引き続き余震に注意する



### 避難生活 では

- 市や自主防災会の指示に従う
- 避難生活をする人が運営組織をつくる
- 集団生活のルールを守る
- 助け合いの心を忘れずに



## 屋内にいたら

### ■自宅では

- テーブルやベッドの下などにもぐって身を守る。適当な場所がないときは、手近のクッションなどで頭を保護する。
- 料理中は、可能ならすぐに火を消す。キッチンには食器棚や冷蔵庫など危険が多いため、できるだけ早く離れる。
- 大きな揺れがおさまったら、すぐにドアや窓を開けて逃げ道を確認する。



### ■集合住宅では

- ドアや窓を開けて逃げ道を確認する。
- 避難にエレベーターは絶対使わないこと。



### ■エレベーターの中では

- 最近のエレベーターは地震の揺れを感知すると自動的に最寄りの階に停止するのでそこで降りる。自動で停止しない場合は、すべての階のボタンを押し、停止した階で外に出る。
- 万が一、閉じ込められた場合は、非常ボタンやインターホンで外部と連絡を取り、救出を待つ。天井などから無理に脱出するのは危険。



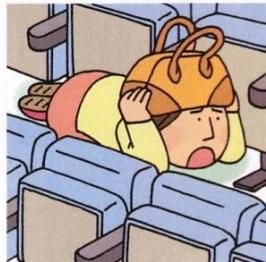
### ■デパート・スーパーでは

- 商品の落下やショーケースの転倒、ガラスの破片に注意する。柱や壁際に身を寄せ、手荷物で頭を守る。
- あわてて出口に殺到するとパニック状態になることもあり危険。店員の指示に従って行動する。



### ■劇場・ホールでは

- 座席の間にうすくまり、かばんや衣類で落下物から頭を守る。
- 頭上に大きい照明などがある場合には、その場から移動する。
- 係員の指示に従い、冷静に行動する。



### ■地下街では

- 地下街は比較的安全と言われている。あわてて外に逃げるのではなく、大きな柱や壁に身を寄せ、揺れがおさまるのを待つ。
- 地下街には約60メートルおきに出口がある。あわてず落ち着いて行動する。
- 火災が発生したら、ハンカチなどで鼻と口を覆い、体を低くして壁づたいに地上に向かう。



### ■学校・勤務先では

#### 学校にいるとき

- 先生や校内放送の指示に従う。
- 教室にいるときは、すぐ机の下にもぐり、机の脚をしっかり持つ。
- 本棚や窓から離れ、安全な場所に移動する。



#### 職場にいるとき

- 窓際やロッカー、資料棚などから離れて、机の下などに入り身を守る。
- 揺れがおさまったらガス湯沸かし器などのスイッチを切るなど、火元を確認する。



## 屋外にいたら

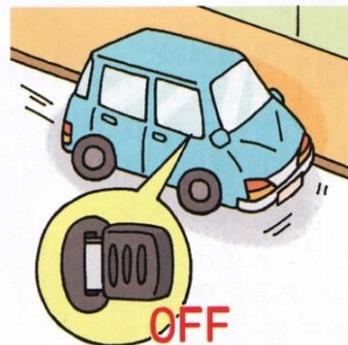
### ■路上では

- 手荷物などで頭を守り、広場などへ移動する。
- 繁華街ではガラスや看板などの落下物に注意。住宅街ではブロック塀や門柱から離れる。
- 自動販売機の転倒にも注意する。
- 落ちるおそれを想定して、橋の上からはすぐに避難する。



### ■車の運転中は

- 急ブレーキは事故のもと。徐々にスピードを落とし、道路の左側に停止してエンジンを切る。
- 揺れがおさまるまでは車外に出ず、カーラジオなどで情報を確認する。
- 緊急時に移動させる場合は緊急車両の支障にならないよう考慮する。
- 車を離れるときは車検証など貴重品を持ち、キーはつけたままでロックもしない。



### ■電車やバスの中では

- 停車の衝撃に備え、つり革や手すりにしっかりとつかまる。
- 網棚からの荷物の落下に備え、手荷物で頭を保護する。
- 勝手に車両から降りず、係員の指示に従う。



### ■海岸・がけ付近では

- 海岸にいたら直ちに高台や近隣の高い建物、指定の避難場所へ逃げる。
- がけ付近にいたら、崩れる危険性のある場所からすぐに離れる。



### ■駅のホームでは

- 掲示板や看板などの落下物に注意する。
- 改札口に殺到するとパニックになる。大きな揺れがおさまるまで、近くの柱に寄り添い、構内アナウンスに従う。



11～12 頁はシェイクアウト（被災時の防衛行動）の参考となります。訓練の時に参考にしてください。

#### 1 しやがむ



#### 2 隠れる



#### 3 じっとする

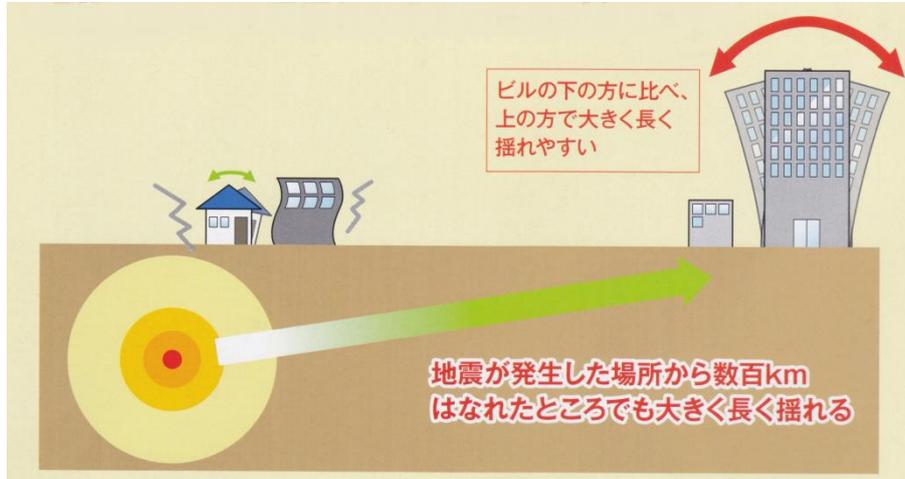


## 長周期地震動

長周期地震動…大きな地震が発生したときに生じる、周期が長いゆれ

特徴1 高いビルを長時間にわたって大きくゆらす

特徴2 遠くまで伝わりやすい



長周期地震動によるゆれの大きさは、震度ではわからないため『長周期地震動階級』という目安で表します。

### 階級1

- 室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。
- ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。



### 階級2

- 室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
- キャスター付きの家具類等がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。



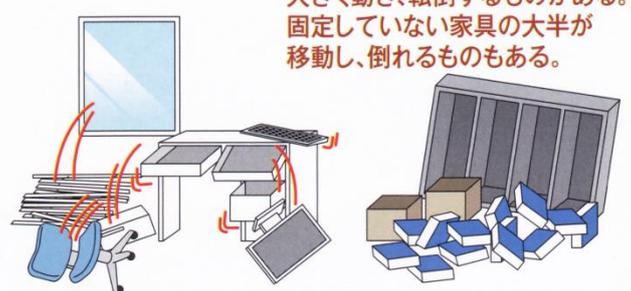
### 階級3

- 立っていることが困難になる。
- キャスター付きの家具類等が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。



### 階級4

- 立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。
- キャスター付きの家具類等が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。



## ゆれがおさまったら

### 《安否確認板》

**無 事**

飛高区自主防災会

### 安全確認

自分の安全を確認したら次に家族の無事を確認します。確認が終えたら念の為、ガスの元栓を閉める、電気ブレーカーを落としてください。

次に表に安否確認板を掲示してください。次に近所の状況を把握して組長を通して報告してください。状況によっては自主防災会本部より援助依頼があれば快く受けてください。

万が一、火災が発生していたら大声で「火事だ・火事だ」と叫び初期消火をしてください。火が自分の背丈以上になると非常に危険ですので、まず逃げてください。その後、近所の方達との消火活動となります。

又、家族の中で怪我人がいる場合は取りあえず防災倉庫の医薬品で応急手当てをします。怪我が重傷の場合や動けない場合は応援を依頼してください。

### 避難

#### 1) 避難場所

避難地については各町の防災倉庫となっています。但し避難場所の状況により使用できない場合は、安全な空き地を利用してください。

避難するときは非常持出品を携帯してください。

#### 2) 避難所

要援護者については飛高会館となります。一般の方については人数が多い場合は門弟山小学校となります。本部の指示に従い必ず徒歩で行動してください。

※貴重品については自己管理が原則です。

※小学校の建屋にはすぐには入れません。耐震診断員の診断が終わり安全と確認されてから立ち入り可能となりますのでその間グランドでの待機となります。

#### 3) 要援護者

要援護者の方々は介護の方だけでは避難が困難な場合が想定されます。

各組長が無事を確認に行きますのでその時援助の依頼をすれば各町自主防災会で対応します。

※避難所の運営・生活については別途マニュアルを確認してください。

# 風水害対応

## 大雨・洪水・暴風などの警報・注意報の種類及び発表基準

種類		発表基準
気象警報	大雨警報(浸水害)	1時間雨量50mm以上
	洪水警報	1時間雨量50mm以上
	暴風警報	平均風速が20m/s以上になると予想される場合
	暴風雪警報	雪を伴い、平均風速が20m/s以上になると予想される場合
	大雪警報	24時間降雪の深さが20cm以上になると予想される場合
気象注意報	大雨注意報	1時間雨量30mm以上
	洪水注意報	1時間雨量30mm以上
	強風注意報	平均風速が13m/s以上になると予想される場合
	風雪注意報	雪を伴い、平均風速が13m/s以上になると予想される場合
	大雪注意報	24時間降雪の深さが5cm以上になると予想される場合
	雷注意報	落雷等により被害が予想される場合
	濃霧注意報	濃霧によって視程が陸上で100m以下になると予想される場合
	乾燥注意報	最小湿度が30%以下で、実効湿度が60%以下に予想される場合
	霜注意報	晩霜期に最低気温が3℃以下になると予想される場合
記録的短時間大雨情報		1時間雨量100mm以上

### 水による被害

過去に水害のあった地域ではあらかじめ土のうを準備し、家の中に水が入らないように早めに設営してください。

また、状況によっては自動車を高い場所に移動させてください。(白山社の駐車場を解放します。)

### 集中豪雨の危険

#### ■短時間で危険な水位

河川、溪流、下水管、用水路などは、激しい雨が降ることやまわりから雨が流れ込むことで、数分から数十分で危険な状態となります。



#### ■注意報や警報が出ない雨でも災害が発生する

大雨や洪水の警報・注意報の発表基準に達していないわずかな雨でも、災害が発生するおそれがあります。



#### ■下水の排水能力を超える大雨

下水道の雨水排水能力(1時間当たり50ミリ)を大きく超える時間雨量100ミリ以上の豪雨が頻発しています。



#### ■離れた場所の雨でも影響する

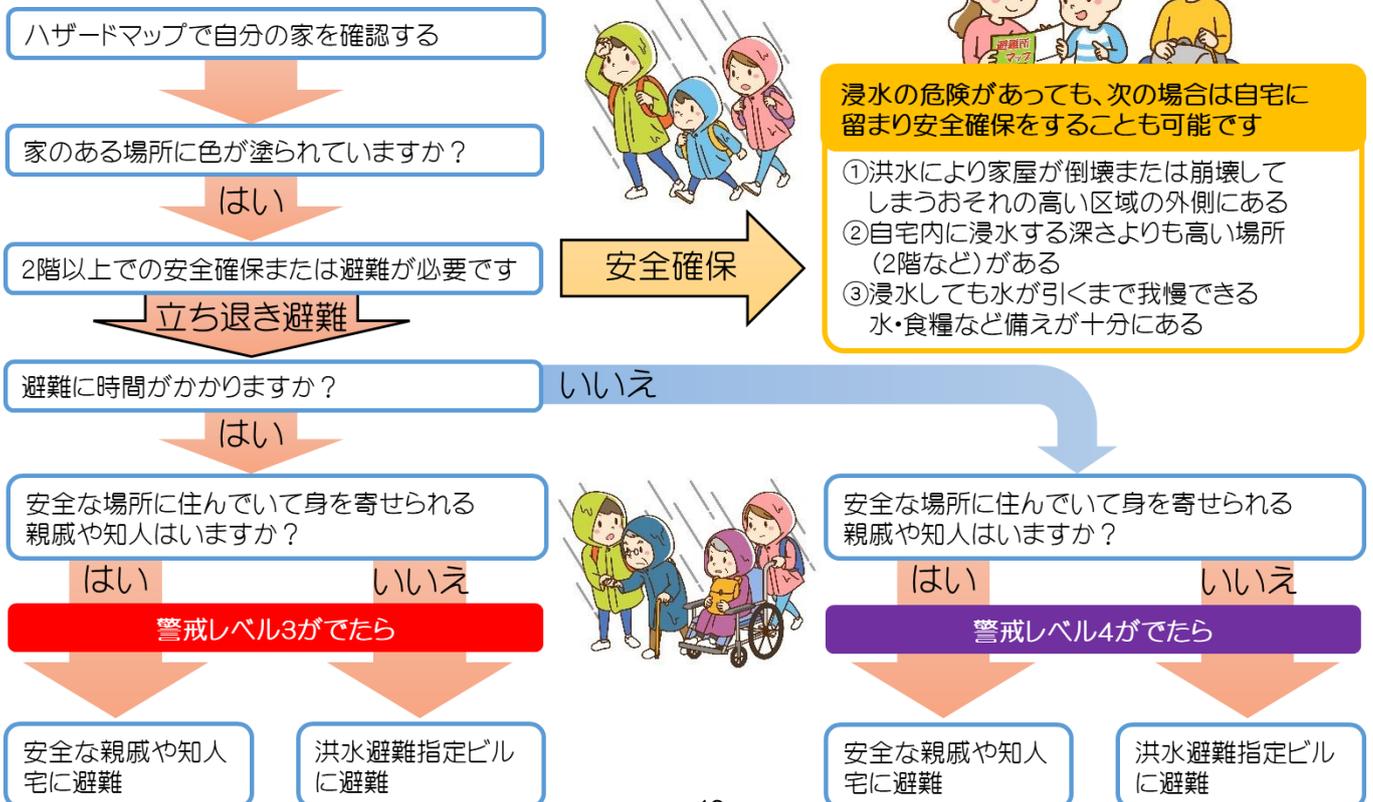
自分のいる場所で強い雨が降ってなくても、上流で降った雨が流れてきて、危険な状態になる場合があります。



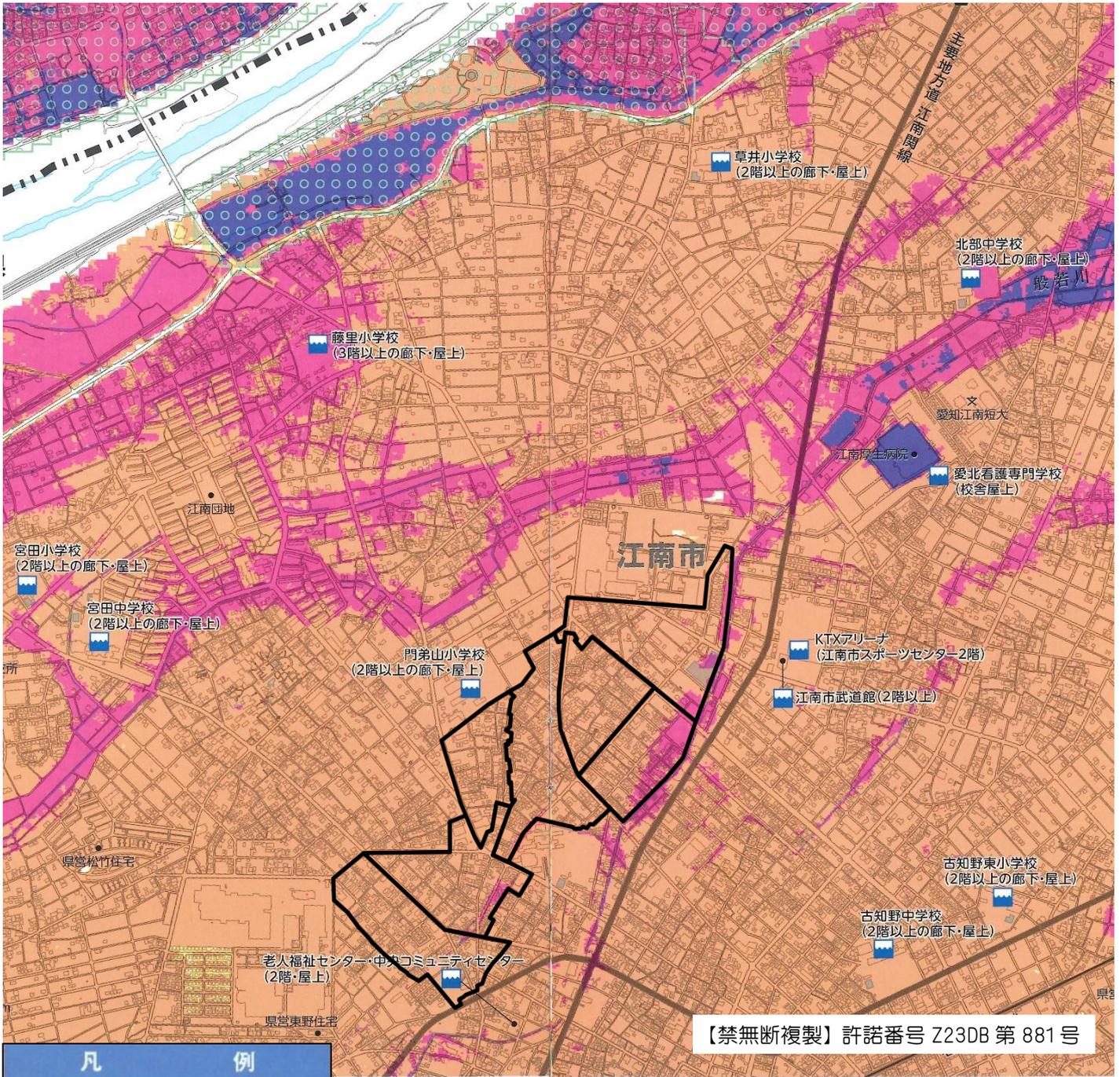
# 警戒レベルと避難行動

気象庁等の情報		市町村の対応		住民がとるべき行動		警戒レベル
大雨特別警報	災害切迫	緊急安全確保 <small>※必ず発令される情報ではない</small>	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！ すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。安全な場所へ移動する	命の危険 直ちに安全確保！	5
<警戒レベル4までに必ず避難！>						
土砂災害警戒情報	危険	避難指示	第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 台風などにより暴風が予想される場合は暴風が吹き始める前に避難を完了しておく	危険な場所から全員避難	4
高潮特別警報	危険	氾濫危険情報	高年齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ、避難の準備を始め、自主的に避難する	危険な場所から高齢者等は避難	3
大雨警報 <small>※</small>	警戒	氾濫警戒情報	第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により災害リスクや避難情報の把握手段を再確認する	自らの避難行動を確認	2
高潮警報に切り替える可能性が高い注意報	警戒	氾濫注意情報	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制)	災害への心構えを高める	災害への心構えを高める	1
大雨警報に切り替える可能性が高い注意報	注意	注意	第1次防災体制 (連絡要員を配置)			
大雨注意報	注意	注意				
洪水注意報	注意	注意				
高潮注意報	注意	注意				
早期注意情報 (警報級の可能性)	注意	注意				

## 逃げ時の判断(避難行動判定フロー)



# 洪水ハザードマップ(木曽川)



【禁無断複製】許諾番号 Z230B 第 881 号

凡	例
	家屋倒壊等氾濫想定区域
	洪水避難ビル

浸水した場合に想定される水深		安全確保	立ち退き	お住いの建物階数	とるべき行動
	5.0m	5.0~10.0m 未満の区域	4階以上	4階以上	安全確保
	3.0m	3.0~5.0m 未満の区域	1から3階	3階以上	立ち退き
		0.5~3.0m 未満の区域	1から2階	2階以上	立ち退き
	0.5m	0.5m 未満の区域	2階以上	平屋建て、1階	安全確保
			立ち退き	安全確保	

※家屋倒壊等氾濫想定区域にお住まいの方は、立ち退き避難が必要です。  
 ※洪水時は市指定の洪水避難ビルへの避難に限らず、近くの頑丈な高い建物に避難する等、最善の行動を取ってください。

国土地理院の「浸水ナビ」では決壊（破堤）地点ごとの浸水想定等をご確認いただけます。

[suiboumap.gsi.go.jp](http://suiboumap.gsi.go.jp)

## 浸水などから避難するときの注意点

### ポイント1 動きやすく、安全な服装で

ヘルメットで頭を保護し、靴はひもで締められる運動靴にする。裸足・長靴は厳禁。



### ポイント2 足元に注意

道路が冠水すると足元が見えにくくなり、側溝やマンホールに気づきにくくなる。長い棒などを杖代わりにして歩くと安全。



### ポイント3 単独行動はしない

避難するときは2人以上です。流されないように、ロープで互いを結ぶ。



### ポイント4 深さに注意

歩行可能な水深の目安は約50センチ。水の流れが速い場合は20センチ程度でも危険になる。危ないと判断した場合は、無理をせず、高所で助けを待つ。



### ポイント5 災害時要援護者に配慮を

高齢者や傷病者は背負い、子どもには浮き輪などを着けて安全を確保する。



《床下浸水の場合》 ・手の届くところは真水で洗い、よく乾燥させます。  
(扇風機などで強制的に風を送って乾燥させてください。)

《床上浸水の場合》 ・泥の排出を行ってから真水で洗い、よく乾燥させます。  
(扇風機などで強制的に風を送って乾燥させてください。)  
・乾燥させた後に消毒を行います。飛高区に手動式噴霧器がありますので、希望される方は各町防災会長へ申し出てください。  
※消毒液は市役所へ取りに行きますので少し時間がかかります。

## 竜巻による被害

竜巻情報が発表された時は、安全な場所で竜巻に備えてください。

### 竜巻が迫ってきたら

#### ■住宅内では

- 窓は閉め、カーテンも閉める。
- 雨戸やシャッターを閉める。
- 家の中心部に近い、窓のない部屋に移動する。
- 地下室や建物の最下階に移動する。
- 低い姿勢を取り、両腕で頭と首を守る。



#### ■屋外では

- 近くの頑丈な建物内に避難する。
- 車の中、物置や車庫・プレハブの建物などには逃げない。
- 近くに頑丈な建物がない場合は、水路や溝などくぼんだ場所（急な豪雨に注意）や物陰に身を伏せ、両腕で頭と首を守る。



#### ■オフィスビルなどでは

- 窓のない部屋や廊下へ移動する。
- ガラスのある場所から離れる。
- エレベーターは停止するおそれがあるので乗らない。
- 低い姿勢を取り、両腕で頭と首を守る。



### 実際に竜巻が接近してきたときの周囲の変化

- 1 空が急に暗くなる
- 2 大粒の雨や「ひょう」が降る
- 3 漏斗状の雲が目撃される
- 4 「ゴー」というジェット機のような音が聞こえる
- 5 飛散物が筒状に舞い上がる
- 6 気圧の変化で耳に異常を感じる



# 火災対応

## 防火対策

### 1) 台所

コンロの近くに燃えやすい物を置かない。天ぷらなどで油を使う場合は必ずコンロから離れない。どうしても離れる場合は必ず火を消すこと。

(新しいガスコンロは一定温度になると火が消える安全装置がついていますので検討してください。)

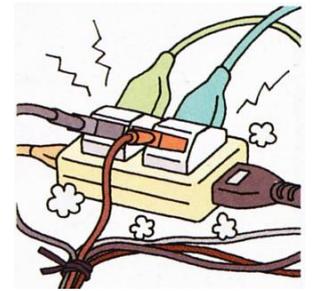
消火器を設置し、炎感知式火災報知器を取り付けてください。

### 2) 居間

タコ足配線になっていないか点検する。

(一般的に家庭用配線は 15A となっています。エアコンは 1 台で 10A を超えますので、コタツや冷蔵庫・電子レンジなどと併用はできません。そのまま使用すると屋内配線に熱をもって火災になる危険があります。)

また、テレビ・冷蔵庫・電子レンジなどはコンセントにホコリが溜まり湿気が増すと、ショートし火災の危険がありますので、定期的にコンセントを抜いて掃除をしましょう。



### 3) 寝室

タコ足配線になっていないか点検する。

煙感知式火災報知器を取り付けてください。

### 4) 灯油式・ガス式暖房器

暖房器の上には洗濯物などの燃えやすい物を置かない。



### 5)ライター・マッチ

子どもの手に届かない場所に置く。

### 6) 屋外

放火の原因となるので、燃えやすい物を置かない。

### 7) その他

仏壇のローソクや線香の使用時に燃えやすい物を近くに置かない。

また、小さい子どもが誤ってローソクを倒す危険もあるので注意する。



## 火災発生時

### 初期対応の3原則

行動  
1

#### 早く知らせる!

- 大きな声で「火事だー!」と叫び、隣近所に知らせる。声が出ない場合は、非常ベルを鳴らすか、やかんや鍋など音の出るものをたたくなどして異常を知らせる。
- どんなに小さな火事でも必ず119番に通報する。

行動  
2

#### 早く消す!

- 火がまだ横に広がっているうちは消火が可能。
- 消火器や水だけでなく、座布団や毛布など手近なものを利用する。

行動  
3

#### 早く逃げる!

- 天井まで火が燃え広がったら消火は困難。無理せず早めに避難する。
- 可能ならば、燃えている部屋の窓やドアを閉め、空気を遮断してから避難する。

#### 1) 自宅で火災が発生した場合

- ・避難後、家族全員の無事を確認したら組長に報告してください。
- ・鎮火後に自宅が使用できない場合は、当面の生活の場を組長・町内会長と相談して決めてください。(飛高会館の使用も含めて)

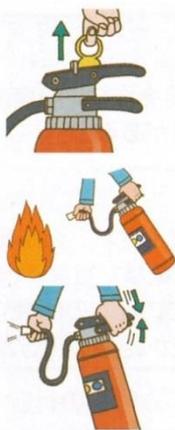
#### 2) 近隣での火災の場合

- ・初期消火のほか、消防車や救急車が現場に入りやすいよう、交通整理と誘導を行ってください。
- ・被災者の人数を確認し消防署員に報告してください。
- ・火災時に持ち出した物品があれば監視をしてください。
- ・夜の火災の場合は再出火の恐れがあるため、徹夜での監視が必要となりますので町内会長の指示に従ってください。

### 消火器の使い方

#### ■消火器の使い方

- 1 安全ピンに指をかけ、上に引き抜く。
- 2 ホースをはずして火元に向ける。
- 3 レバーを強く握って噴射する。



#### ■消火器の構え方

- 1 火の風上にまわり、風上から構える。
- 2 やや腰を落として、低く構える。
- 3 熱や煙を避け、炎には真正面から向き合わない。
- 4 炎を狙うのではなく、火の根元を掃くように左右に振る。

#### ■消火器は定期的に点検を!

##### 安全ピン

- 変形、破損はないか
- 封印は切れていないか

##### ホース

- ひび割れ、ゆるみ、劣化はないか

##### 本体・底部

- サビや変形はないか

##### 消火器の種類

- 有効な使用を確認する



##### レバー

- 変形、破損はないか

##### キャップ

- 変形やゆるみはないか

##### シール

- 使用期限内か、使用限界年数を調べて書き加える

##### ゲージがついている場合

- 圧力を示す針が規定内にあるか

# 火元別の消火方法

## ■コンロ

- 油鍋に水をかけるのは厳禁。
- 消火器は離れた位置から、鍋の全面を覆うように向けて噴射する。
- 消火器がない場合は、シーツやバスタオルをぬらして手前からかぶせ、空気を遮断する。



## ■衣類

- 着衣に火がついたら、転げまわって火を消す。風呂場に残り湯があれば、浴槽に飛び込む。



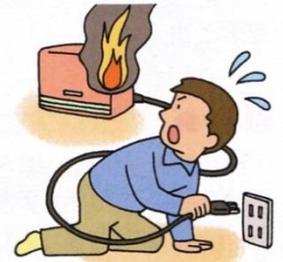
## ■ストーブ

- 消火器は直接火元に向けて噴射する。
- 消火器がない場合は、シーツや毛布などをぬらして手前からすべらせるようにかぶせ、空気を遮断する。



## ■電気器具

- いきなり水をかけると感電の危険がある。コンセントかブレーカーを切り、消火器で消火する。



## ■カーテン・ふすま・障子

- カーテンは燃え広がる前に水をかける。できればレールから引きちぎり消火する。
- ふすまや障子などはけり倒して、踏み消す。その後、水をかけてしっかり消火する。



## ■たき火

- 消火器を使う。消火器がない場合は水や土で消す。
- 水の準備ができていない場合は、ほうきや木の枝でたたいて消し、その後、水でしっかり消火する。



## ■たばこ

- 寝たばこなどにより、布団などの綿製品が焦げた場合は、消したつもりでも見えないうちに火種が残り、再び燃えだすことがあるので、浴槽などにつけ完全に消す。



## 逃げるタイミングは天井への延焼!

避難する目安は、天井まで火が燃え移ったとき。火が天井に燃え移るまでの間は初期消火に努めますが、もし炎が天井に燃え移ったら、けっして自分で消火をしようとせず、迷わずすぐに避難してください。



## ■住宅用防火機器を活用しよう

### 火災の発生を早く知らせる

#### 〈住宅用火災警報器〉

煙や熱を感知すると、警報音で知らせてくれます。すべての住宅に設置が義務づけられています。



### 火災防止に

#### 〈安全装置付調理器具〉

異常な加熱や火が消えた際に、自動的にガスの供給を止めます。



## 火災の被害を最小限に

### 〈防災品〉

火がついても燃え広がりにくい製品。カーテンやカーペット、寝具、エプロンなど。



### 〈住宅用消火器〉

小型で軽量タイプもあります。

### 〈簡易自動消火装置〉

火災の熱を感知すると、自動的に薬剤を放出します。

### 〈住宅用スプリンクラー装置〉

火災の熱を感知すると、部屋全体に放水します。

## 避難所では

避難所には多くの人たちが集まり、開設時には混乱することもあります。運営には区民の皆様の協力が必要です。

### 受付での登録

- ・受付で世帯ごとに『避難所利用者登録』を記入します。
- ・高齢者、障がいや病気を抱えている方、乳幼児を連れている方や妊婦さんなど、避難生活で配慮が必要な方は登録時に防災委員（運営スタッフ）に伝えてください。

### 【要援護者（災害弱者）登録のお願い】

飛高区では年に一回、一人暮らしの高齢者、乳幼児を持つ母親、障がいを抱える方など避難に支援が必要な方を対象に登録をお願いしています。（区独自の登録制度）スムーズな避難を行うためにも、登録にご協力をお願いします。

### 避難所での役割分担

- ・避難所は集まるすべての人が協力しあって運営します。
- ・性別や年齢に関係なく、積極的に避難所の運営に協力してください。

### 自宅避難・車で避難生活を送る方

- ・自宅や車中で避難生活を送る方に対しても救援物資を配給します。
- ・飛高会館または門弟山小学校で『避難所利用者登録』を記入し登録してください。

### ペットの防災対策

避難所でストレスにならないよう、日頃からのしつけを心がけましょう

- ・ペットを連れて避難する場合は飼い主の責任のもと“同行避難”が原則です。
- ・避難するときは必ずゲージやキャリーバッグに入れてください。
- ・避難所では普段以上に周りの人への配慮を行い、飼い主同士が助け合い世話をしてください。

防災・減災マニュアル～家庭用～

令和5年9月 発行/飛高区

＜引用＞

◇気象庁発行 パンフレット・リーフレット ◇気象庁HP

◇内閣府・消防庁発行 リーフレット

◇江南市HP

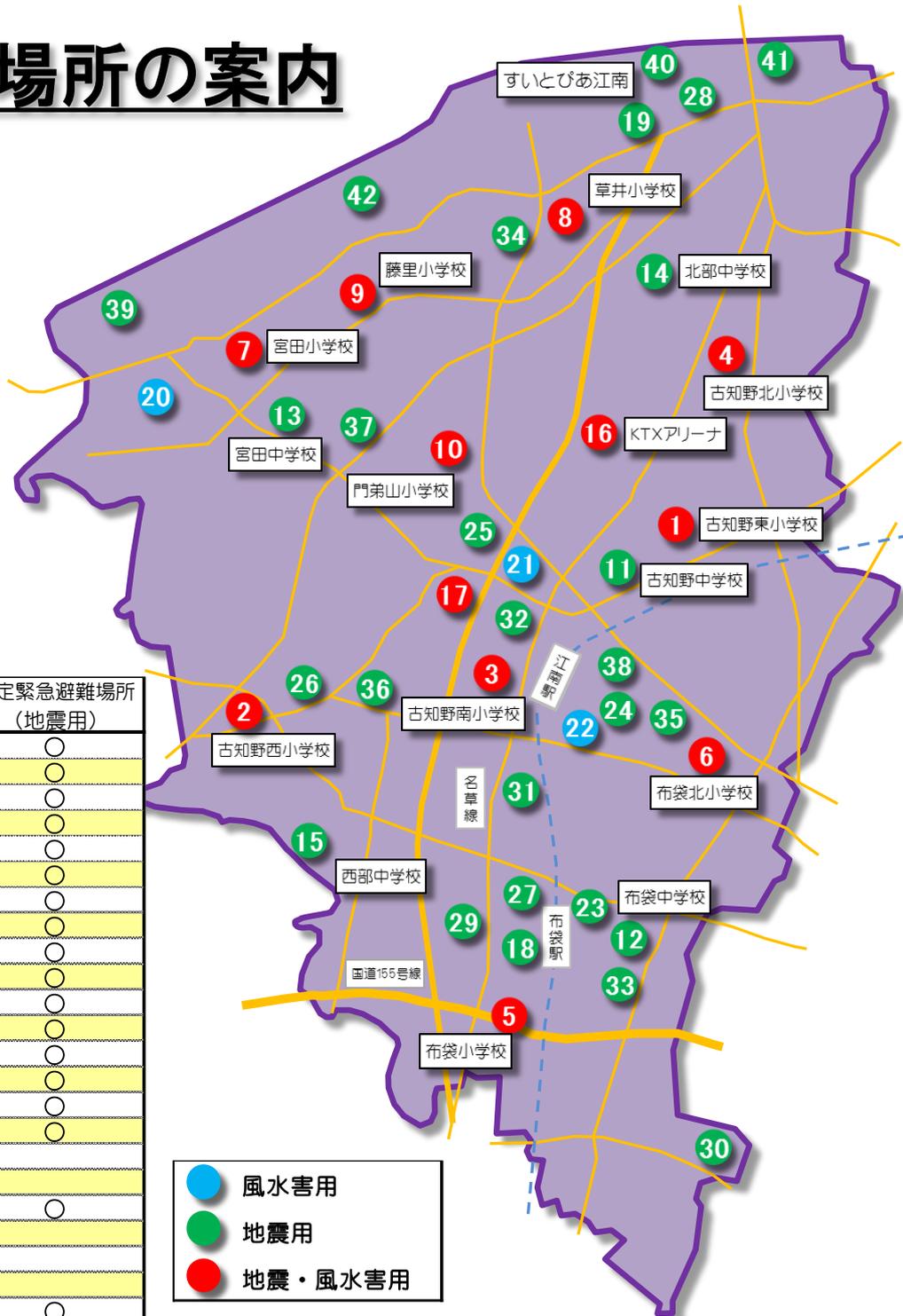
＜協力（敬称略）＞

◇江南市 ◇名古屋市地方気象台



マニュアル番号HW3-4

# 避難所・避難場所の案内



	施設名	指定避難所		指定緊急避難場所 (地震用)
		風水害用	地震用	
1	古知野東小学校	●	●	○
2	古知野西小学校	●	●	○
3	古知野南小学校	●	●	○
4	古知野北小学校	●	●	○
5	布袋小学校	●	●	○
6	布袋北小学校	●	●	○
7	宮田小学校	●	●	○
8	草井小学校	●	●	○
9	藤里小学校	●	●	○
10	門弟山小学校	●	●	○
11	古知野中学校	●	●	○
12	布袋中学校	●	●	○
13	宮田中学校	●	●	○
14	北部中学校	●	●	○
15	西部中学校	●	●	○
16	KTXアリーナ	●	●	○
17	老人福祉センター	●	●	○
18	布袋ふれあい会館ホール	●	●	○
19	すいとびあ江南	●	●	○
20	宮田保育園	●	●	○
21	古知野中保育園	●	●	○
22	中央保育園	●	●	○
23	尾北高等学校			○
24	江南高等学校			○
25	古知野高等学校			○
26	滝学園			○
27	地藏山児童遊園			○
28	草井児童遊園			○
29	布袋児童遊園			○
30	二子山児童遊園			○
31	交通児童遊園			○
32	古知野中児童遊園			○
33	北山児童遊園			○
34	小鹿児童遊園			○
35	白山児童遊園			○
36	大間児童遊園			○
37	曼陀羅寺公園			○
38	中央公園			○
39	蘇南公園			○
40	江南緑地公園(中般若)			○
41	江南緑地公園(草井)			○
42	フラワーパーク江南			○

● 風水害用  
● 地震用  
● 地震・風水害用



## 避難所・避難場所とは

避難所	自宅で生活できない被災者が一定期間、生活するための施設
避難場所	身を守るために安全が確保できる場所または施設で避難者が一時的に避難する場所